

館名	三原市教育委員会 中之町コミュニティセンター
事業名	“遊んで、学んで、大発表会(パート1～3)”—子供たちの学習支援を通じて、コミセンを地域の拠点に—
特徴	<p>従来、コミセンでいくつかの講座が独自に取り組んでいた小学校総合学習支援(施設見学受け入れ)やPTAバザー時の学習発表支援(出前講座)を「質・量」とともに拡大しながら、その他のコミセン企画と絡めたり、関連する機関(運営委員会、自治会の各組織、小学校、同PTA等)に働きかける中で、「地域全体で子どもを育てていく」という環境作りを推進する雰囲気を作りだしてきた。又こうした活動を通して、子どもたちや地域の方々のコミセンへの親近感の熟成が進み、コミセンとしても活動全体の活性化やボトムアップに繋がっていく。</p>
事業の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学校PTC活動支援</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>若い保護者発案による親子講座の開設(ユネスコ講座)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コミセン見学・交流受け入れ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>地域のお年寄りと子どもたちの交流事業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域全体で「未来へのメッセージ」や「折り鶴」作り(市内の平和イベント出展)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学校への出前講座&子どもたちの研究・発表活動支援</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>コミセンの出前講座を受けての学習発表。大勢の保護者や地域の方を巻き込んで、盛会の内に終了</p> </div> </div>
概要	<p>(※)ここでは平成27年度～28年度に展開した「公民館等活性化モデル事業」と、引き続き中之町連合自治会からの助成を受けた29年度の取り組みを中心に報告している。</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★子どもたちや(若い)保護者及び地域住民の、コミセンへの親近感熟成。 ★子どもたちの学習意欲の育成寄与。 ★上記活動を通して、「地域で子どもを育てる環境作り」を、コミセンが軸となって発信・創出する。 <p>【期間】 毎年7月(夏休み)～翌年2月</p> <p>【場所】 中之町コミュニティセンター～中之町小学校(随時、中之町地域の各町内会集会所等)</p>

【対象】

中之町小3年生61名, 中之町コミセン講座(8講座)67名
町内会児童部・老人部それぞれ20名, 中之町小PTA3年生役員12名
地域協力者(連合自治会等)12名

【内容】

7月 夏休み親子講座の開設

27年度はコミセン講座及び町内会組織との連携企画として、「ピースキャンドル作り」&「お年寄りの戦争体験を聴こう」
28年度はユネスコ広島から講師を招いて「インドの紙袋作り体験 — 世界の児童労働の実態」学習等
(※)28年度はコミセンを利用されている若い保護者中心の講座からの提案企画です。

7～8月 三原市中央公民館平和イベントへの連携・参加(コミセンの各講座, 地域町内会, 小学校等への働きかけ)

★27年度 「戦後70年企画 — 未来への手形メッセージ作成」を小学生400名とコミセン講座・地域の大人400名で作成し, 大型ボード8枚に貼って中央公民館のイベントに展示・参加。

★28年度 「平和を祈る折り鶴」を小学生400羽, コミセン・地域の方々が1,800羽作り, 大型ボード3組に貼って中央公民館のイベント会場に展示・参加 — オバマ大統領の広島訪問と相まって, 中国新聞やケーブルテレビでも報道され, 市内で大きな反響を呼んだ。地域でも「僕たち, 私たちが作った折り鶴アート」として話題になり, 地域の一体感を創り出すための「コミセン発信企画」としては成功を収めた。

★29年度 中央公民館平和イベントでの「色染め灯籠」の作成～コミセン講座の皆さんを中心に平和コンサートへの参加

7～9月 27年/28年度は小学校PTC活動支援(硬紙で簡単にできるブーメランとヒコキ作りの指導と機材提供)

11月 毎年, 小学校総合学習の一環としての施設見学受け入れ — 「遊んで, 学んで, 大発表会」の前期企画
(コミセン3講座:20～24名が受け入れ・対応)

1～2月 毎年, 小学校への出前講座 — 「遊んで, 学んで, 大発表会」の後期企画 (コミセン5講座:22名～24名が出前)

★出前講座を受けた子どもたちは演技の発表以外にも, 各課題ごとに由来・歴史を研究・調査し, PTAバザー時に保護者や全校児童の前で発表した。コミセン講座は, それぞれ発表時のバックアップと応援で参加。

【成果】

★地域の子どもたちや住民の, コミセンに対する親近感熟成について従来よりも深まったことが感じられる。特に小学校PTC活動支援や, コミセンの若い利用者を中心にして作りあげた企画を通して, コミセン活動には疎遠な地域の若い方々の(コミセン活動への)理解が広がっていったことが特徴として上げられる。

★従来, コミセンの少数の講座が好意(ボランティア)で行っていた小学生のコミセン受け入れや出前講座を, 町内会やPTA組織と連携して行うことによって, コミセン内部での活動の活性化が図ることが出来た — 従来, 単独で行っていた時以上の達成感や, こうした事業に関わることへの誇りや遣り甲斐があったなどの感想が報告されている。

★上記と重なるが, 従来の「コミセン単独」での企画・事業を地域組織との連携で行うことによって, 地域の各級組織や活発に活動しておられるグループ・人材との交流が広がり, 地域間連携の基礎作りを進めることが出来た。

特に27/28年度の2年間で行った「公民館等活性化モデル事業」の展開を通して, 中之町連合自治会からの支援・協力が進み, 29年度以降はこれらの企画・事業に対して連合自治会からの毎年の助成金支出が実現した。

【課題】

★従来よりは改善されたが, まだまだ関係する諸団体での論議の深まりは不十分。役員さんや, コミセン関係講座の頑張りにも負う部分が多いと言わざるを得ない — 「コミセンへお任せ」ということからは十分に脱却できていない。

★地域の様々なグループとの交流・交歓は広がったが, その中で活躍しておられる個々の人材を「引き寄せ, 連携しながら活動を進める」というスタイルには到達できていない。コミセンが地域の人材を「発掘し, プールし, 活用する」という目的意識的な取り組みは緒についたばかりといえる。

中之町コミュニティセンター
〒723-0003 三原市中之町2丁目2-1
☎ 0848-64-4099 (FAX 同)
電子メール nakanoc@m.email.ne.jp